

検見川の浜ビーチフェスタ 2023 秋

どんぐりであそぼう・竹ぼっくりを作ってみよう

梅宮 玲子（市原市）

日 時：2023年10月29日（日）10:00～15:00 天候：小雨のち晴れ

参加者：100名位（就学前子ども～大人） ドングリゴマ 100個以上

担当指導員：伊藤・花島・八木・浦部・白波親子・梅宮（会員外：鶴沢さん）

検見川の浜、秋のイベント「検見川の浜ビーチフェスタ」。初めて春に参加してから自然観察ちばとしては2回目となります。当日は雨が降っていたので、中止になるのかも心配しましたが、無事開催されました。小雨の影響で体感温度はかなり寒く、春よりはお客さんの出足が遅かったものの、だんだん天気も回復してきて午後は暑いくらいでした。会場に来る人達はテントをのぞいて、ドングリゴマを回したり、隣の白波さんの息子さんのドングリビンゴゲームをしたり（パソコンの中の3個のドングリが揃うと当たり）ドングリのストラップ（1人1回）が景品でもらえます。

ドングリゴマとドングリストラップは各々カラーペイントやシールを貼ってオリジナルの作品を完成できるので、大人も子供も楽しんでいました。そのお隣では20秒の間にドングリを箸でカップにどちらが速く移動するかドングリのお引越し競争。まだ箸の使えない小さなお子さんは手で移動してもOKと、ハンデをつけました。また、昭和の森でドングリコロコロゲームに使用した、箱の4隅（ペットボトルのフタの上にドングリを乗せる）にドングリを配置して上の2個所の穴から下の箱にドングリをどちらが速く落とせるかを、親子で競争（箱は全部で4組ある）。

テント脇ではドングリそうめん流し。コロコロ、ドングリを転がして下のバケツまで無事転がすことが出来たらOKのはずですが、途中とまって動かなかったり、コースを外れて、側溝に落ちてしまうドングリも・・・竹ぼっくりは鶴沢さんや伊藤さんの助けを借りながら親が子供のために一生懸命のこぎりで竹を切って作成していました。そのほか風船を竹にかぶせて太鼓にしたものや、ドングリと竹でいろいろなバリエーションの遊びが出来るのですね。

テントの前では大道芸さんのパフォーマンスや語り部の紙芝居なども近くでやっていました。少し客足がないときはサクラになって見に行ったり、ビーチフェスタを盛り上げる役も交替で買ってでることなどもしました（自分たちが見たかっただけかも？）。

今回は3時で終了でしたが、ぎりぎりまでドングリゴマに色を塗って楽しんでいる人たちもいました。大人も子供も、1人でも家族単位でも本当に楽しそう。こうしたイベントはいろいろな人たちが誰でも参加できて、なかなか良いことだと思いました。



1人1個のドングリゴマを思い思いにペイント



お父さんの手先をじっと眺める子どもたち